

農業のエキスパート!

伊佐市の指導農業士

後継者不足のなか、新規就農を希望する人は貴重な存在ですが、農業で生計を立てられず離農する人も多いといいます。そうした事態を回避すべく、これからの農業を担っていく新規就農者に技術指導や農業経営を実践的に教え、農業発展に尽力している農業のエキスパートの指導農業士6人をご紹介します。

指導農業士とは

優れた農業経営を実践し、青年農業者の育成に対する熱意と指導力のある農業者を知事が認定するもので、地域農業を支える青年農業者等の育成を支援する活動を行っている人たち。

指導農業士 6 人に話を聞きました!

みなさんとても笑顔が素敵で、物腰柔らかい優しい方々でした。お話を聞くと、農業に関して本当に豊富な知識と熱い思いを持っていることが伝わり、私も話を聞いているうちに農業をやってみたくなりました。貴重な体験談やアドバイスを伺ったので、これから新規就農を考えている人はぜひ参考にしてみてください!

― 農業経営での体験談 ―

親から引き継いだ時は水稲1・5ha、生産牛5頭。牛の人工授精業(現金収入)に頼る複合経営からの始まりでした。数年後、農作業受託を始めたから、格段と経営が安定してきました。転機は、長男が研修中に離農される農場を手に入れ、長男が帰ってきた頃に子牛の価格が上がりだしたことです。現在は長男が牛の管理を行い、私が水稲と大豆を作り、妻が手伝う経営を行っています。

― 就農者(育成)に対する思いやアドバイス ―

農業はいろんな作物を作り収穫、販売する職業です。これまでは新しい作物を作らないかと言われましたが、作業工程、土地、労働条件など自分に合った作物で品質、収量が多い品で優位な販売先を開拓することが大事です。それを行うために、聞く、見る、話すといった情報収集を行い、消費者が何を欲しがっているのか、農産物流通の仕組みはどうなっているのかなどを理解するべきだと考えています。農業経営においては、生産した作物を有利販売する難しさ、家族経営の大変さ、作物を作る難しさなど多くの苦難があります。

― 農業経営を行う上で大事なことは、

いろんな研修会に参加して知識を習得していくことです。また、市や県などの助言・指導を受けて、各種事業の補助金を利用して規模拡大等を行うということも大切だと思います。

― 市の農業振興に期待ポイント ―

伊佐で農業を行う青年農業者のみならずが農業経営の課題を乗り越えて活躍していただけることを期待します。

島田 省悟 さん

[鳥巢地区]

- 経営しているもの
生産牛 60 頭、水稲 3.5ha、大豆 3.2ha
- 農業歴 40 年
- 一緒に経営を行っている人
妻、長男



川原 慎一郎さん
[針持地区]

- 経営しているもの
和牛生産牛（約70頭）、
家畜人工授精（牛）
- 農業歴 45年
- 一緒に経営を行っている人 妻

― 農業経営での体験談

18歳で就農し、あつという間に45年経ちました。牛を選んだ動機は大変単純で、カウボーイがかつこよく思えたのも一因だったと思います。しかし、仕事は想像していたものとはだいぶ違いました。

牛に関する知識、技術を全く持ち合わせていないことに初めて気づき

ました。父に「牛の糞は、どんな形が良いのか」と尋ねたことを懐かしく思います。

― 就農者（育成）に対する思いやアドバイス

農業は、大変懐の広い職業だと思います。生業として？生き方？それとも趣味？あなたは、どんな農業を目標としているのでしょうか。選んだ作物を通して自身を表現し、自己の可能性に挑戦してください。

― 次代の担い手育成に向けた指導
農業士の活動

雑木林の中に、綺麗に積み上げられた石垣を目にすることがあります。当時に想いを馳せると畏敬の念に駆られます。

人の可能性の大きさを信じ、先人たちが紡いできた農業の本質的な魅力、逞しさ、可能性を見いだしつつ、自分の経営に取り入れて成功してほしいです。

― 市の農業振興に期待する点

あえて遠回りになることを覚悟した対策も、一部あっても良いのではないかと思います。伊佐の自然、産業、企業の力を集めて次の世代の育成に力を注ぐことが、おのずと農業振興に繋がると思います。

― 農業経営での体験談

当初は農家になる予定ではなかったし、親も兼業だったので1ha程で米を作っていました。今思えば勤め

に行きながらやればよかったのですが、どうせやるなら専業としてやってみようと思えました。資金も設備もなかったのだから0からのスタートでした。今だに挑戦中です（涙）。初めはお金ほしさにいろいろ

な作物を作りましたが、うまくいくはずありません。覚悟を決めて米とネギに絞り、ほかはやめてから徐々に良くなり今日まで来ました。

― 就農者（育成）に対する思いやアドバイス

とにかく分からないことや困ったことなど、一人で悩まず聞くことが大事！一人で思っている問題も解決しない。先輩農家さんに教えてもらったらいいと思います。

― 次代の担い手育成に向けた指導
農業士の活動

一人勝ちでなくなかないと思います。みんなでいい物を作り伊佐の価値を上げていくことが大切ではないでしょうか。それが売上げにつながると思います。そのためにも仲間や同じ農業者を大切にし、連携をと

りながらやっていってほしいです。やがてはその中心にいるような人に成長してください。

― 市の農業振興に期待すること

時代の移り変わりは早い、いろいろな情報や政策をいち早くキャッチし、農業振興に寄与することなら積極的に取り組んでください。話し合い活動に本気で取り組まないと遅きに失します。

大塚 聖作さん
[田中地区]

- 経営しているもの
水稻 25ha、金山ネギ 2.5ha、
作業受託
- 農業歴 26年
- 一緒に経営を行っている人
妻、従業員1人、繁忙期パート2~4人





西 律子 さん [宮人地区]

- 経営しているもの
さつまいも 11ha、カボチャ 0.4ha、
金山ネギ 0.2ha、水稻 0.8ha
- 農業歴 39 年
- 一緒に経営を行っている人
夫、繁忙期4人雇用

― 農業経営での体験談

農業での経営は、厳しく難しい所もありますが、自分自身が振り返る時、微笑みを浮かべられるように、忙しいからこそ趣味や習いごに精を出し、素敵な農業者となれるよう努力しています。時間を自由に使える職業、やりがいのある職業だと思います（時間の使い方は自分次第）。

― 就農者（育成）に対する思いやアドバイス

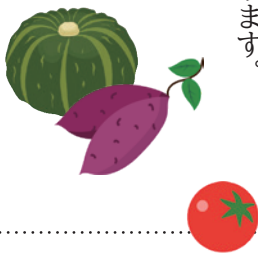
農業とは、どんな職業なのか、自分が何をしたいのか、目標を立てたうえで、その目標を達成するためにどうして進めばいいのか、足元を固めるためにはどう考えて動いたらいいのかを考えることが必要だと思います。

― 次代の担い手育成に向けた指導 農業士の活動

指導農業士も、担い手の人に何を伝え、どうやって導くのかを考え、それぞれの担い手の育成を関係機関とともに考えてあげるように努力すべきだと思います。

― 市の農業振興に期待すること

県、市、JA、指導士が同じ考えを持ち、同じ深さで話し合い、情報交換をしながら一緒に進むことで、育成に少しでもつながると思います。担い手育成に努力をしながら1人でも多く伊佐市に農業者として残ってくれるように頑張ります。



― 農業経営での体験談

4 回も台風に遭い、毎回倒れたネギを起こしたにもかかわらず、1・2ha 全滅してしまったこともありました。機械を導入して出荷数を増やした途端、中国から立派な安いネギが輸入され価格が暴落し、経営が大変になり、ネギは少し作りながら葉たばこを6年間作ったりもしました。どの作物においても、手をかけただけ良い物ができ、収益も上がることを学ばせてもらいました。

― 就農者（育成）に対する思いや アドバイス

親元就農の人は3年位は親から学びながらやっていくうちに、後々そうだったのかと気づかされることも多くあると思います。新規就農の人は農業は天候に左右されるので適期の作業に努め、よく圃場に行き作物を観察すれば、今何の作業をすればいいか分かると思います。

― 次代の担い手育成に向けた指導 農業士の活動

部会の全体の検討会が行われていますが、人数は少なくとも各支部単位でも現地検討会を行い、新規の人にも入ってもらって地域の人と交流するのがいいと思います。農政課、

農業委員会と連携し、新規の人が作りやすい土地の確保等にみなさんで協力し合えたらいいと思います。

― 市の農業振興に期待すること

水稻や畜産、根深ねぎ、かぼちゃなど頑張っている若い生産農家もだいぶ増え、頼もしいかぎりです。この若手の方々が伊佐の農業の中核を担っていくるように、行政やJA等が支援をしてくださるようお願いいたします。

井立田 正 さん [山野地区]

- 経営しているもの
水稻6ha、金山ネギ 0.8ha、
大豆5ha
- 農業歴 28 年
- 一緒に経営を行っている人
妻、長男夫婦



― 農業経営での体験談

園芸は正直苦勞が多いです。大雨だったたり、暑すぎたり寒すぎたり、近年作物を育てにくく感じます。昨年良くできたから今年も良くできる、ということはありません。だからこそ毎年の収穫はとても喜びがあります。おいしいと食べてもらえるのが一番うれしいです。

作物も畜産も、いかに手入れをするか、少しの変化に気づくかが重要です。これ以上は手が回らないと思ったら、耕作面積等を増やさない

出水 美代子 さん

[平出水地区]

- ・経営しているもの
水稲 2.9ha、施設野菜（トマト）0.3ha、
ブロッコリー 0.1ha
- ・農業歴 29 年
- ・一緒に経営を行っている人 夫、母

のも大事だと思います。

― 就農者（育成）に対する思いや

アドバイス

毎日試行錯誤しながら、上手になるのが普通です。新聞やインターネットで情報を得るのもいいですが、分からないこと、困ったときは先輩農家さんに聞くのが経営安定の近道です。大事なものは元気でいること。具合が悪ければ、思い切って休むことも仕事をするうえでは大切です。

― 次代の担い手育成に向けた指導

農業士の活動

考えていることを直接伝えられない時は、SNS等で私たちとやり取りするのもいいのかなと思います。人とのつながりを大切に、その中で私たちに疑問や不安等伝えてもらえたら、少しでも力になれるのかなと考えています。

― 市の農業振興に期待すること

今後伊佐の特産物となる野菜等があるか、6次化含め、農業者と関係機関で考えていければと思っています。認定農業者や法人だけではなく、兼業農家も含め農業に関わるみなさんで、伊佐の農業を支えられたらいいと思います。行政のバックアップを期待します。

農業（産業）に関する情報は、市ホームページでご覧いただけます。

伊佐市トップ > 農林業・商工観光・移住定住 > 産業 > 農業



- ▶ 認定農業者、集落営農組織、農業法人、認定新規就農者など「担い手」の経営発展に役立つ主な支援策を紹介するガイドブック等を掲載。

※支援策ガイドブックは、市ホームページのほか、農政課（菱刈庁舎）にも設置してあります。

□伊佐市農業経営支援策活用ガイド（令和4年版）

- ・担い手への農地の集積や集約化を進めたい
- ・新たに農業を始めたい
- ・安定した農産物を生産したい
- ・畜産経営に安定して取り組みたい
- ・環境にやさしい農業に取り組みきたい
- など（一部抜粋）



□伊佐市新規就農者ガイドブック（令和4年版）

- ・農業をはじめの前に必要なことを確認（チェックシート）
- ・就農から経営確立までの流れ
- ・就農計画をたてよう
- ・各種研修等について
- ・支援策の紹介

注）支援策として掲載されている事業によっては、前年度に事業計画の作成や承認が必要などの条件がありますので、必ずしも今年度に取り組めるものではありません。事業ごとにお問い合わせください。

令和5年度の「国県補助事業の要望調査」 （農業用機械・施設導入など）

提出期限 **7月12日（火）**

【注】採択条件を満たす必要があります。

対象となり得る認定農業者等に、「要望調査書」を6月17日付けで送付しました。送付文書を確認いただき、来年度に取り組む希望のある人は、関係書類の提出をお願いします。

問い合わせ先 農政課担い手支援係 ☎23-1311（内線）2243・2244